



東京産業保健総合支援センター研修案内(平成29年5月～7月)

◇研修のお申し込みは、当センターのホームページから直接申し込むことができます。

◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。

◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=<http://www.tokyos.johas.go.jp>

◆認定産業医研修◆

※基礎研修は実施しておりません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

日時	テーマ	講師	単位	定員
5月11日(木) 14:00～16:00	ストレスチェック制度のあらましと、長時間労働者、高ストレス者に対する面接指導の実施に関する研修 改正労働安全衛生法により平成27年12月1日に施行された「ストレスチェック制度」では、一定の条件を満たす労働者に対し医師による面接指導を実施することが事業者には義務付けられています。 本研修ではストレスチェック制度のあらましと、平成27年11月に厚生労働省から公表された「長時間労働者、高ストレス者の面接指導に関する報告書・意見書作成マニュアル」を基に高ストレス者の面接指導の実施方法、「面接指導結果報告書」「就業上の措置に係る意見書」の記載方法等について解説します。	古山 善一	生涯・更新2	70
5月15日(月) 14:00～16:00	労基法・安衛法・労災保険法における視点と相違点 過重労働対策を中心に、各法制度の特徴を明らかにして労務管理・健康管理上の留意点を検討したいと思います。	飯島 正三	生涯・専門2	70
5月18日(木) 13:30～16:30	作業環境測定方法 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立つ」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	市川 英一 岩崎 毅	生涯・実地3	30
5月19日(金) 14:00～16:00	「過重労働」による健康障害防止対策と労働安全衛生法 大手広告代理店の若手社員の自殺を機に、再び「過重労働」と「過労自殺」が社会的関心を呼んでいます。この企業は、過去にも同様な事案を発生させ社会的問題になっていたにもかかわらず、再度同様の事案を発生させてしまいました。労働基準監督署の姿勢も厳しく強制捜査も行われています。 過重労働等を発生させた場合労働基準法と労働安全衛生法で、大きく問題にされるのは、長時間労働(サービス残業含む)と健康障害防止対策の2点です。 労働基準監督署は、調査の際に企業の過重労働による健康障害防止対策や長時間労働防止対策をどう見ているのか。今回は、過重労働による健康障害防止対策、長時間労働防止対策を、法違反の未然防止という観点も併せもう一度考えてみたいと思います。	中山 篤	生涯・専門2	70
5月25日(木) 14:00～16:00	事業場における治療と職業生活の両立支援 がんやメンタルヘルス不調などに罹患した従業員を健康面、人面からしっかりサポートし治療と就業の両立をはかることは、本人にとっても会社にとっても有意義な取り組みです。本研修では、この両立支援を行うに産業医がキーパーソンとしてどのような対応を行うのかを一緒に学びたいと思います。	内田 和彦	生涯・専門2	70
6月6日(火) 14:00～16:00	健康診断事後措置の具体的な事例～ケースカンファレンス～ 健康診断の事後措置について、「就業に関する医師等の意見」に焦点をあて、その解説に加えて事例のグループ討議を行います。産業医がどのように事後措置へ関るのかの理解を深めることを目的とした研修です。	竹田 透	生涯・実地2	40
6月15日(木) 14:00～16:00	ストレスチェック制度のあらましと、長時間労働者、高ストレス者に対する面接指導の実施に関する研修 改正労働安全衛生法により平成27年12月1日に施行された「ストレスチェック制度」では、一定の条件を満たす労働者に対し医師による面接指導を実施することが事業者には義務付けられています。 本研修ではストレスチェック制度のあらましと、平成27年11月に厚生労働省から公表された「長時間労働者、高ストレス者の面接指導に関する報告書・意見書作成マニュアル」を基に高ストレス者の面接指導の実施方法、「面接指導結果報告書」「就業上の措置に係る意見書」の記載方法等について解説します。	古山 善一	生涯・更新2	70

6月19日(月) 14:00～16:00	産業保健活動 産業医としての業務について～実際の産業医業務をどのように進めるか～ 対象として、産業医業務の基本的事項について解説致します。具体的には、安全衛生計画の立案(評価)や安全衛生委員会の開催(運営)、職場巡視の実施や過重労働による健康障害防止活動の進め方等、産業医の関わる基本的な安全衛生事業について具体的な例を示しながら進めたいと思っています。産業医業務の実際についてご経験の少ない方々を歓迎致します。	角田 透	生涯・ 専門2	70
6月23日(金) 13:30～16:30	作業環境測定方法 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	市川 英一 岩崎 毅	生涯・ 実地3	30
7月4日(火) 14:00～16:00	これからの職域健康診断 平成28年度に厚生労働省は「定期健康診断等のあり方に関する検討会」を設置して、労働安全衛生法に基づく定期健康診断の見直しを行いました。本研修では、検討会における検討結果を概説し、今後の職域健康診断のあり方について解説します。	山口 直人	生涯・ 専門2	70
7月11日(火) 14:00～16:00	ストレスチェック制度のあらましと、長時間労働者、高ストレス者に対する面接指導の実施に関する研修 改正労働安全衛生法により平成27年12月1日に施行された「ストレスチェック制度」では、一定の条件を満たす労働者に対し医師による面接指導を実施することが事業者には義務付けられています。本研修ではストレスチェック制度のあらましと、平成27年11月に厚生労働省から公表された「長時間労働者、高ストレス者の面接指導に関する報告書・意見書作成マニュアル」を基に高ストレス者の面接指導の実施方法、「面接指導結果報告書」「就業上の措置に係る意見書」の記載方法等について解説します。	土屋 譲	生涯・ 更新2	70
7月13日(木) 14:00～16:00	働くことで健康になる ～治療と職業生活の両立支援～を目指して 生涯現役の時代は働くことによって健康になるという考え方が注目されています。また、ストレスチェック集団分析への関心の高まりが職場のあり方を見直す動きにつながっています。産業医の立場からも、働き甲斐のある職場とはどういう職場かを考え、提案していくことが求められていると思います。働くことで、成長できる、チームとして動ける、創意工夫を発揮できる、相当の処遇を受ける、社会的に評価されるとはということなのか考えます。	古山 善一	生涯・ 専門2	70
7月21日(金) 14:00～16:00	産業保健政策の最近の動向～法令改正・通達等～ メンタルヘルス対策、長時間労働対策、職業がん対策、産業医制度等に関する最近の法令・通達の改正についてその背景を含めて解説します。	石井 義脩	生涯・ 更新2	70
7月24日(月) 13:30～16:30	作業環境測定方法 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	市川 英一 岩崎 毅	生涯・ 実地3	30
7月27日(木) 14:00～16:00	産業保健と法⑦～安全配慮義務～ 安全配慮義務についての基礎的な理解を目指すとともに、過労死・過労自殺のケースを中心に判例の傾向を見ていきます。	弁護士 西園寺 直之	生涯・ 専門2	70

◆保健師・看護師研修◆

※産業看護実力アップコースの単位取得可能な研修会は平成26年9月末で一旦終了となっております。

日時	テーマ	講師	単位	定員
5月9日(火) 14:00～16:00	やめたい人がやめられる禁煙支援のポイント 健康日本21(第2次)では、成人喫煙率の目標値を12%(H34年)としています。これを達成するためには、まず禁煙したい人を確実に禁煙に繋げることが必要となります。東京オリンピックをまじかに控え、国を挙げ受動喫煙対策が取り組まれようとしている今を追い風に、「やめたい人がやめられる」効果的な禁煙指導の方法について解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	斎藤 照代	単位なし	20
5月12日(金) 14:00～16:00	「過重労働」による健康障害防止対策と労働安全衛生法 大手広告代理店の若手社員の自殺を機に、再び「過重労働」と「過労自殺」が社会的関心を呼んでいます。この企業は、過去にも同様事案を発生させ社会的問題になっていたにもかかわらず、再度同様の事案を発生させてしまいました。労働基準監督署の姿勢も厳しく強制捜査も行われています。 過重労働等を発生させた場合労働基準法と労働安全衛生法で、大きく問題にされるのは、長時間労働(サービス残業含む)と健康障害防止対策の2点です。 労働基準監督署は、調査の際に企業の過重労働による健康障害防止対策や長時間労働防止対策をどう見ているのか。今回は、過重労働による健康障害防止対策、長時間労働防止対策を、法違反の未然防止という観点も併せもう一度考えてみたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	単位なし	30
5月16日(火) 14:00～16:00	産業保健と法⑨～安全配慮義務～ 安全配慮義務についての基礎的な理解を目指すとともに、過労死・過労自殺のケースを中心に判例の傾向を見ていきます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	弁護士 西園寺 直之	単位なし	30
5月22日(月) 14:00～16:00	小規模事業場メンタルヘルス担当者のための研修～ラインケアも含めて～ 50人未満の事業場では、ストレスチェック制度の実施は努力目標となりましたが、職場におけるメンタルヘルス推進については、今後、ストレスチェック実施することが契機となることと予測されます。また、電話相談では、小規模ゆえに、大規模事業場とは同じように動けないとのメンタルヘルス担当者の声がかかります。そこで、小規模事業場ゆえの特性を確認しながら、有効なメンタルヘルスのあり方を説明していきます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	松井 知子	単位なし	30
5月23日(火) 14:00～16:00	労働安全衛生管理基礎講座② 「労働安全衛生法」の中で労働衛生管理に関連する条文は数多くあります。実際には、「労働安全衛生法」だけでなく「労働安全衛生規則」をはじめとした諸規則の理解も必要になります。 本研修ではテキストに当センター発行「平成28年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎についてわかりやすく解説します。 本講座4回連続の2回目です。今回は安全衛生管理体制、健康診断等健康管理等を中心に少し掘り下げて解説します。 「平成28年度版労働衛生のハンドブック」をお持ちの方はご持参ください(お持ちでない方は当日差上げます)。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	古山 善一 中山 篤	単位なし	30
5月29日(月) 14:00～16:00	職場復帰支援のあり方 職場復帰の問題は、職場で展開されるメンタルヘルス活動・メンタルヘルス管理の一環です。したがってメンタルヘルス活動の原理原則を明確化させ、あわせて各職場に即した復職判定のあり方について検討します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	大西 守	単位なし	30
5月30日(火) 14:00～16:00	労働衛生管理の基礎と事例～新入社員に対する労働衛生教育の進め方について～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。二部で各企業における新入社員に対する労働衛生教育の進め方について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(フリートーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	単位なし	20
5月31日(水) 14:00～16:00	ストレスチェック制度・メンタルヘルス対策の進め方 企業における取組み状況と課題、産業保健スタッフの役割と各対策の実施効果が得られるようにするためのスキルアップのほか、最近厚生労働省が公表した『治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン』についても解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	梶川 清	単位なし	30

6月9日(金) 14:00～16:30	「化学物質のリスクアセスメント」の義務化について 平成28年6月より改正労働安全衛生法により施行された「化学物質のリスクアセスメント」の義務化について、法改正の内容、事業場における対応、コントロールバンディングとは？、個人ばく露濃度測定等を中心に、保健師、看護師、人事労務担当者、衛生管理者等を対象に「化学物質のリスクアセスメント」について解説します。 ※本研修の研修時間は2.5時間(午後2時00分～午後4時30分)です。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	市川 英一	単位なし	30
6月16日(金) 14:00～16:00	事例を通して考える 部下やメンタルヘルス不調者とのコミュニケーション 援助になるかわり方のポイントについて、良い例と悪い例の比較を通して、体験的に学べる機会にしたいと思います。 (研修の内容は前回開催(平成28年10月21日)と同内容です。) (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	松島 尚子	単位なし	20
6月20日(火) 14:00～16:00	労働安全衛生管理基礎講座③ 「労働安全衛生法」の中で 労働衛生管理に関連する条文は数多くあります。実際には、「労働安全衛生法」だけでなく「労働安全衛生規則」をはじめとした諸規則の理解も必要になります。 本研修ではテキストに当センター発行「平成28年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎についてわかりやすく解説します。 本講座は4回連続の3回目です。今回は心と身体の健康づくり(メンタルヘルス、過重労働による健康障害防止対策を含む)、職業性疾病等を中心に少し掘り下げて解説します。 「平成28年度版労働衛生のハンドブック」をお持ちの方はご持参ください(お持ちでない方は当日差上げます)。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	古山 善一 中山 篤	単位なし	30
6月22日(木) 14:00～16:00	交流分析入門 職場を暗くするコミュニケーショントラブル、パワハラ、いじめ・・・は、交流分析心理学のディスカウント(存在を認めない)で、その深層心理や構造が分かります。健康な職場、気持ちの良い人間関係、自律的人材・管理職に変える決め手は、ストローク(存在を認める)です。 人材アセスメント研修や人事考課者訓練を通じて一般社員を「できる管理職」に磨いてきた講師が、交流分析を用いて人材の磨き方をご紹介します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	日本交流分析協会 川合 由美子 古山 善一	単位なし	30
6月27日(火) 14:00～16:00	実践(戦)的職場復帰支援～キャリアを求め・生きる喜びにつながる～ ストレスチェック制度が実施されたものの、休業者対応はやはり必要な実態ではないでしょうか。予防に目を向けながらも、まだまだメンタルヘルス不調者の職場復帰支援の困難性はあります。いまは、病気になっても治療しながら働き続けることのできるような職場復帰支援が必要です。 また、がんや脳疾患、肝疾患の「治療と職業生活の両立支援」の流れもあります。 そんな事例を踏まえながら、その課題や問題点を出して、今後の復帰支援プログラムや同プラン等を一緒に考えていきましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	単位なし	30
6月29日(木) 14:00～16:00	労働衛生管理の基礎と事例～事業場におけるセルフケアとラインケア教育の進め方について～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。 二部で各企業における事業場におけるセルフケアとラインケア教育の進め方について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(フリートーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	単位なし	20
7月6日(木) 14:00～16:00	職場における救急体制 職場における様々な救急処置について注意点を解説するほか、救急体制づくりに必要となる重点項目を学習することができる研修会です。AED実習がありますので動きやすい服装でご参加ください。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	高山 俊政	単位なし	20

7月7日(金) 14:00～16:00	事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン～その理解と実践の第一歩～ 医学の進歩により、がんをはじめ各種疾病の治療をしながら働くことが可能になっていますが、現実には職場の理解や支援が受けられないために治療と職業生活の両立をあきらめている人が多いのが現状です。よって、企業にとって治療と職場生活の両立支援(以下「両立支援」という。)は「健康経営」や「社会的責任」等の観点から見て推進されるべき取組と言えます。また、少子高齢化による本格的な労働力不足時代を迎えようとしている日本では、今後は「病気になるからと言って、貴重な戦力をむざむざ離職させ手放す」というようなぜいたくは許されなくなっていくでしょう。そういう意味でも「両立支援」は各企業にとって推進すべき重要な課題と言えます。 今まで両立支援に取り組んでいなかったり、取り組んでいてもその場限りの取り組みに終わっていた企業の皆様、両立支援とはどのようなことなのか、取りあえずの第一歩として表題のガイドラインをもとに、両立支援に対する理解を深めていただきたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	単位なし	30
7月14日(金) 14:00～16:30	新型うつ、適応障害、発達障害、いわゆる「グレーゾーン」とどうつきあうか、育て直しの職場コミュニケーションを考える 新型うつ、適応障害、発達障害など職場の不適応は軽症化するものの多様化が進んでいる。診断がつくほどではないが(弱い疾病性)、症状が隠れていて本人も周囲も気づきにくい困っている(強い事例性)ケースに職場はどうつきあっていけばいいのかが、コミュニケーションの取り方を変えて「育て直し」していくことを考えていきます。 (研修の内容は前回開催(平成29年4月14日)と同内容です。) (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	廣川 進	単位なし	30
7月18日(火) 14:00～16:00	働く人のメンタルヘルス最前線⑬～法に基づくストレスチェック制度実践編(職場環境改善活動につなげる健康経営の考え方)～ 事業場内メンタルヘルス推進担当者(保健師・看護師、人事労務担当者等)が、経営トップに説明したり、労働者に研修したりする際に、「使えるネタ」を提供します。 法に基づくストレスチェック制度を実施した後、集団分析結果を踏まえた職場環境改善活動時に使えるツールや手法について、解説いたします。また、各種事業場の取り組み事例もご紹介いたします。 その他、今年から始まった経済産業省が推し進めている、労働者の健康作りに力を入れる「健康経営」に取り組む中小企業を認定する制度「健康経営優良法人認定制度」(2017年度は、大企業236法人、中小企業95法人が認定)についても、詳しく解説いたします。 本講義を通じ、自社に持ち帰った上で、働く人のメンタルヘルスに関し説明する力が身につけられることを願っております。希望者には当日使用したスライドを差し上げます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	「こころの耳」事務局長 石見 忠士	単位なし	30
7月19日(水) 14:00～16:00	労働衛生管理の基礎と事例～企業の安全配慮義務違反をリスクと捉えた、快適職場環境の形成について～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。二部で各企業における企業の安全配慮義務違反をリスクと捉えた、快適職場環境の形成について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(フリートーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	単位なし	20
7月25日(火) 14:00～16:00	労働安全衛生管理基礎講座④ 「労働安全衛生法」の中で労働衛生管理に関連する条文は数多くあります。実際には、「労働安全衛生法」だけでなく「労働安全衛生規則」をはじめとした諸規則の理解も必要になります。 本研修ではテキストに当センター発行「平成28年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎についてわかりやすく解説します。 本講座は4回連続の4回目です。今回は快適職場、作業環境測定等の他、過重労働による健康障害防止対策にとって重要な労働基準法(労働時間管理関係)について併せて解説します。 「平成28年度版労働衛生のハンドブック」をお持ちの方はご持参ください(お持ちでない方は当日差上げます)。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	古山 善一 中山 篤	単位なし	30
7月28日(金) 14:00～16:00	ストレスチェック制度・メンタルヘルス対策の進め方 企業における取組み状況と課題、産業保健スタッフの役割と各対策の実施効果が得られるようにするためのスキルアップのほか、最近厚生労働省が公表した『治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン』についても解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	梶川 清	単位なし	30

◆人事・労務・衛生管理者研修◆

日時	テーマ	講師	定員
5月9日(火) 14:00～16:00	やめたい人がやめられる禁煙支援のポイント 健康日本21(第2次)では、成人喫煙率の目標値を12%(H34年)としています。これを達成するためには、まず禁煙したい人を確実に禁煙に繋げることが必要となります。東京オリンピックをまじかに控え、国を挙げ受動喫煙対策が取り組まれようとしている今を追い風に、「やめたい人がやめられる」効果的な禁煙指導の方法について解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	斎藤 照代	20
5月12日(金) 14:00～16:00	「過重労働」による健康障害防止対策と労働安全衛生法 大手広告代理店の若手社員の自殺を機に、再び「過重労働」と「過労自殺」が社会的関心を呼んでいます。この企業は、過去にも同様な事案を発生させ社会的問題になっていたにもかかわらず、再度同様な事案を発生させてしまいました。労働基準監督署の姿勢も厳しく強制捜査も行われています。 過重労働等を発生させた場合労働基準法と労働安全衛生法で、大きく問題にされるのは、長時間労働(サービス残業含む)と健康障害防止対策の2点です。 労働基準監督署は、調査の際に企業の過重労働による健康障害防止対策や長時間労働防止対策をどう見ているのか。今回は、過重労働による健康障害防止対策、長時間労働防止対策を、法違反の未然防止という観点も併せもう一度考えてみたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	40
5月16日(火) 14:00～16:00	産業保健と法⑨～安全配慮義務～ 安全配慮義務についての基礎的な理解を目指すとともに、過労死・過労自殺のケースを中心に判例の傾向を見ていきます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	弁護士 西園寺 直之	40
5月22日(月) 14:00～16:00	小規模事業場メンタルヘルス担当者のための研修～ラインケアも含めて～ 50人未満の事業場では、ストレスチェック制度の実施は努力目標となりましたが、職場におけるメンタルヘルス推進については、今後、ストレスチェック実施をすることが契機となることと予測されます。また、電話相談では、小規模ゆえに、大規模事業場とは同じように動けないとのメンタルヘルス担当者の声がきかれます。そこで、小規模事業場ゆえの特性を確認しながら、有効なメンタルヘルスのあり方を説明していきます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	松井 知子	40
5月23日(火) 14:00～16:00	労働安全衛生管理基礎講座② 「労働安全衛生法」の中で労働衛生管理に関連する条文は数多くあります。実際には、「労働安全衛生法」だけでなく「労働安全衛生規則」をはじめとした諸規則の理解も必要になります。 本研修ではテキストに当センター発行「平成28年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎についてわかりやすく解説します。 本講座4回連続の2回目です。今回は安全衛生管理体制、健康診断等健康管理等を中心に少し掘り下げて解説します。 「平成28年度版労働衛生のハンドブック」をお持ちの方はご持参ください(お持ちでない方は当日差上げます)。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	古山 善一 中山 篤	40
5月29日(月) 14:00～16:00	職場復帰支援のあり方 職場復帰の問題は、職場で展開されるメンタルヘルス活動・メンタルヘルス管理の一環です。したがってメンタルヘルス活動の原理原則を明確化させ、あわせて各職場に即した復職判定のあり方について検討します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	大西 守	40
5月30日(火) 14:00～16:00	労働衛生管理の基礎と事例～新入社員に対する労働衛生教育の進め方について～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。二部で各企業における新入社員に対する労働衛生教育の進め方について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(フリートーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	50
5月31日(水) 14:00～16:00	ストレスチェック制度・メンタルヘルス対策の進め方 企業における取組み状況と課題、産業保健スタッフの役割と各対策の実施効果が得られるようにするためのスキルアップのほか、最近厚生労働省が公表した『治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン』についても解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	梶川 清	40

6月9日(金) 14:00～16:30	<p>「化学物質のリスクアセスメント」の義務化について</p> <p>平成28年6月より改正労働安全衛生法により施行された「化学物質のリスクアセスメント」の義務化について、法改正の内容、事業場における対応、コントロールバンディングとは？、個人ばく露濃度測定等を中心に、保健師、看護師、人事労務担当者、衛生管理者等を対象に「化学物質のリスクアセスメント」について解説します。 ※本研修の研修時間は2.5時間(午後2時00分～午後4時30分)です。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	市川 英一	40
6月16日(金) 14:00～16:00	<p>事例を通して考える 部下やメンタルヘルス不調者とのコミュニケーション</p> <p>援助になるかわかり方のポイントについて、良い例と悪い例の比較を通して、体験的に学べる機会にしたいと思います。 (研修の内容は前回開催(平成28年10月21日)と同内容です。) (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	松島 尚子	20
6月20日(火) 14:00～16:00	<p>労働安全衛生管理基礎講座③</p> <p>「労働安全衛生法」の中で 労働衛生管理に関連する条文は数多くあります。実際には、「労働安全衛生法」だけでなく「労働安全衛生規則」をはじめとした諸規則の理解も必要になります。本研修ではテキストに当センター発行「平成28年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎についてわかりやすく解説します。 本講座は4回連続の3回目です。今回は心と身体の健康づくり(メンタルヘルス、過重労働による健康障害防止対策を含む)、職業性疾病等を中心に少し掘り下げて解説します。「平成28年度版労働衛生のハンドブック」をお持ちの方はご持参ください(お持ちでない方は当日差上げます)。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	古山 善一 中山 篤	40
6月22日(木) 14:00～16:00	<p>交流分析入門</p> <p>職場を暗くするコミュニケーショントラブル、パワハラ、いじめ・・・は、交流分析心理学のディスカウント(存在を認めない)で、その深層心理や構造が分かります。健康な職場、気持ちの良い人間関係、自律的人材・管理職に変える決め手は、ストローク(存在を認める)です。人材アセスメント研修や人事考課者訓練を通じて一般社員を「できる管理職」に磨いてきた講師が、交流分析を用いて人材の磨き方をご紹介します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	日本交流分析協会 川合 由美子 古山 善一	40
6月26日(月) 14:00～16:30	<p>がんをもつ労働者と職場へのより良い支援のために ～治療と就労のバランスを支えるヒント～</p> <p>今回の研修では、近年増えているがんをもつ労働者が、治療と就労のバランスをとれるようにすることを旨として、どのような支援が望まれるか、どのように支援を進めるかについて、事例検討を含めて学びます。</p>	錦戸 典子 佐々木 美奈子 社会保険労務士 本山 恭子	30
6月27日(火) 14:00～16:00	<p>実践(戦)的職場復帰支援～キャリアを求め・生きる喜びにつながる～</p> <p>ストレスチェック制度が実施されたものの、休業者対応はやはり必要な実態ではないでしょうか。予防に目を向けながらも、まだまだメンタルヘルス不調者の職場復帰支援の困難性はあります。いまは、病気になっても治療しながら働き続けることのできるような職場復帰支援が必要です。 また、がんや脳疾患、肝疾患の「治療と職業生活の両立支援」の流れもあります。そんな事例を踏まえながら、その課題や問題点を出して、今後の復帰支援プログラムや同プラン等を一緒に考えていきましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	菅野 由喜子	40
6月29日(木) 14:00～16:00	<p>労働衛生管理の基礎と事例～事業場におけるセルフケアとラインケア教育の進め方について～</p> <p>基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。二部で各企業における事業場におけるセルフケアとラインケア教育の進め方について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(フリートーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	吉田 守	50
7月6日(木) 14:00～16:00	<p>職場における救急体制</p> <p>職場における様々な救急処置について注意点を解説するほか、救急体制づくりに必要となる重点項目を学習することができる研修会です。AED実習がありますので動きやすい服装でご参加ください。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	高山 俊政	10

7月7日(金)	事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン～その理解と実践の第一歩～ 医学の進歩により、がんをはじめ各種疾病の治療をしながら働くことが可能になっていますが、現実には職場の理解や支援が受けられないために治療と職業生活の両立をあきらめている人が多いのが現状です。よって、企業にとって治療と職場生活の両立支援(以下「両立支援」という。)は「健康経営」や「社会的責任」等の観点から見て推進されるべき取組と言えます。また、少子高齢化による本格的な労働力不足時代を迎えようとしている日本では、今後は「病気になったからと言って、貴重な戦力をむざむざ離職させ手放す」というようなぜいたくは許されなくなっていくでしょう。そういう意味でも「両立支援」は各企業にとって推進すべき重要な課題と言えます。 今まで両立支援に取り組んでいなかったり、取り組んでいてもその場限りの取り組みに終わっていた企業の皆様、両立支援とはどのようなことなのか、取りあえずの第一歩として表題のガイドラインをもとに、両立支援に対する理解を深めていただきたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	40
7月14日(金)	新型うつ、適応障害、発達障害、いわゆる「グレーゾーン」とどうつきあうか、育て直しの職場コミュニケーションを考える 新型うつ、適応障害、発達障害など職場の不適応は軽症化するものの多様化が進んでいる。診断がつくほどではないが(弱い疾病性)、症状が隠れていて本人も周囲も気づきにくい困っている(強い事例性)ケースに職場はどうつきあっていけばいいのか。コミュニケーションの取り方を変えて「育て直し」していくことを考えていきます。 (研修の内容は前回開催(平成29年4月14日)と同内容です。) (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	廣川 進	40
7月18日(火)	働く人のメンタルヘルス最前線⑬～法に基づくストレスチェック制度実践編(職場環境改善活動につなげる健康経営の考え方)～ 事業場内メンタルヘルス推進担当者(保健師・看護師、人事労務担当者等)が、経営トップに説明したり、労働者に研修したりする際に、「使えるネタ」を提供します。 法に基づくストレスチェック制度を実施した後、集団分析結果を踏まえた職場環境改善活動時に使えるツールや手法について、解説いたします。また、各種事業場の取り組み事例もご紹介いたします。 その他、今年から始まった経済産業省が推し進めている、労働者の健康作り力を入れる「健康経営」に取り組む中小企業を認定する制度「健康経営優良法人認定制度」(2017年度は、大企業236法人、中小企業95法人が認定)についても、詳しく解説いたします。 本講義を通じ、自社に持ち帰った上で、働く人のメンタルヘルスに関し説明する力が身につけられることを願っております。希望者には当日使用したスライドを差し上げます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	「こころの耳」事務局長 石見 忠士	40
7月19日(水)	労働衛生管理の基礎と事例～企業の安全配慮義務違反をリスクと捉えた、快適職場環境の形成について～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。二部で各企業における企業の安全配慮義務違反をリスクと捉えた、快適職場環境の形成について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(フリートーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	50
7月25日(火)	労働安全衛生管理基礎講座④ 「労働安全衛生法」の中で労働衛生管理に関連する条文は数多くあります。実際には、「労働安全衛生法」だけでなく「労働安全衛生規則」をはじめとした諸規則の理解も必要になります。 本研修ではテキストに当センター発行「平成28年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎についてわかりやすく解説します。 本講座は4回連続の4回目です。今回は快適職場、作業環境測定等の他、過重労働による健康障害防止対策にとって重要な労働基準法(労働時間管理関係)について併せて解説します。 「平成28年度版労働衛生のハンドブック」をお持ちの方はご持参ください(お持ちでない方は当日差上げます)。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	古山 善一 中山 篤	40
7月28日(金)	ストレスチェック制度・メンタルヘルス対策の進め方 企業における取組み状況と課題、産業保健スタッフの役割と各対策の実施効果が得られるようにするためのスキルアップのほか、最近厚生労働省が公表した『治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン』についても解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	梶川 清	40